

市議会だより さつて



極寒の冬に咲く権現堂の日本水仙 

12月定例会のおもなことから

- ・令和4年12月定例会議案等 …… 2～4ページ
- ・各常任委員会での審査 …… 5～7ページ
- ・市政に対する一般質問等 …… 8～15ページ
- ・議決結果の一覧、編集後記 …… 16ページ

No.105
2023年
2月

12月定例会

令和4年第4回

一般会計補正予算を含む 市長提出議案16件、議員提出議案1件を可決・同意

12月定例会は、11月30日から12月21日までの22日間の日程で開かれました。市長提出議案は、条例の制定・改正案9件、補正予算案5件、権利放棄案1件、損害賠償額の決定案1件、人事案件1件の17件でした。うち1件については、原案撤回が承認され、合計16件となりました。審査の結果16件は、原案のとおり可決・同意されました。加えて、議員提出による条例制定案1件が提出され、原案のとおり可決されました。

一般質問では14人の議員が市政をたどりました。

また、10月31日に開かれた臨時会において、エネルギー・食料品等価格高騰の影響を受けた市民・事業者を支援する補正予算案1件が可決されました。

(議案第63号) 損害賠償の額を 決定することについて

令和4年8月25日、経年劣化した水道管の破損により濁りが生じた水道水が市内に所在する工場に流入し、設置している機械部品に損害を生じさせた。損害賠償額は部品代267万3千円が計上。

(議案第67号) 幸手市議会の議員の議員報酬 及び費用弁償等に関する条例の 一部を改正する条例

今年8月の人事院勧告を踏まえ、期末手当の支給割合を年間0・10月分引き上げ、現行の4・30月から4・40月に改定するもの。

(議案第68号) 幸手市長等の給与等に関する 条例の一部を改正する条例

今年8月の人事院勧告を踏まえ、市長、副市長及び教育長の期末手当の支給割合を年間0・10月分引き上げ、現行の4・30月から4・40月に改定するもの。

(議案第69号) 幸手市職員の給与に関する 条例の一部を改正する条例

今年8月の人事院勧告を踏まえ、職員の給料表及び勤勉手当の支給割合を改定するもの。給料表については、初任給及び若年層の俸給月額を引き上げる。

施行期日は、令和4年4月1

日から適用する。

また、勤勉手当の年間支給割合を、0・10月分引き上げ、期末手当、勤勉手当の支給割合を現行の4・30月から4・40月に改定する。

令和4年10月31日 臨時会 (議案第57号) 令和4年度幸手市一般会計 補正予算(第7号)

令和4年9月、内閣府から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金が示された。実施にあたっては、地域の実情に応じてきめ細やかに、必要な支援を重点的・効果的に実施するよう措置され、事業を速やかに実

施するために、1億4648万7千円が追加補正された。

(内容)

- ・エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける高齢者や若者を対象として、ハッピーメール券を送付する。
- ・エネルギー・食料品価格等の影響を受ける高齢者施設等、障がい者・障がい児施設等、民間保育園等、医療機関等、中小企業・小規模事業者等に支援金を交付する。
- ・エネルギー・食料品価格等の影響を受ける世帯の支援として、小・中学校の学校給食費を令和5年1月から3月まで無償化する。

今年も
よろしく
お願い
いたします



議長

宮杉 勝男

副議長

小林 啓子

議員（議席順）

四本 奈緒美
坂本 達夫
海老沼 隆夫
小林 英雄
枝久保 喜八郎
本田 謡子
小河原 浩和
松田 雅代
木村 治夫
藤沼 貢夫
青木 章
武藤 壽
大平 泰二



幸手市議会議長
宮杉 勝男

市民の皆様さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、日頃から幸手市議会に對しまして、温かいご支援、ご指導を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、未だ収束に至っておりませんが、再び、安心して生活できることを切に願っております。私たち議員も、市民の代表として、しっかりと市議会での議論を重ねてまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして大きく飛躍する年となり、明るい一年になりますよう、心よりご祈念申し上げます。市議会を代表し、新年のご挨拶とさせていただきます。



幸手市長
木村 純夫

市民の皆様には、輝かしい新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、市政推進に、深いご理解と格別のご支援をたまわり心から感謝申し上げます。

市では、関係各位の皆様のご協力をいただきながら、市民の皆様が安全で安心して暮らせる、「未来志向のまちづくり」を進めてまいります。

今年（卯（う）年（とし））です。うさぎの様に飛躍できるよう、今後も、新型コロナウイルスへの感染防止対策を徹底した上で、「拙速は巧遅に勝る」を肝に銘じ、教育・子育て・医療・介護・福祉・施設整備・防災等の様々な事業を、積極的に実施してまいります。

結びに、皆様にとりまして、より佳き年となりますことを、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年12月定例議会
本会議議案質疑内容

（議案第63号）
損害賠償の額を決定
することについて

質疑

令和4年8月25日の水道水の濁り水、被害状況を伺います。

答弁

大字吉野1件、大字権現堂24件、大字幸手44件、大字上吉羽36件、大字上高野3件、大字神明内9件、天神島1丁目1件、大字天神島2件、東1丁目3件、東2丁目3件、東3丁目49件、東4丁目55件、東5丁目53件、北2丁目3件、北3丁目14件、大字木立4件、緑台1丁目23件、緑台2丁目3件、以上18地区、330件です。

質疑

事故発生から詳細な時間的経緯と水道部の対応について伺います。

答弁

場所は幸手市東5丁目22の1付近。発生時刻は、令和4年8

月25日午前9時40分頃です。

水道部が確認に至った経緯は、令和4年8月24日午前8時に市民より水道部に通報があり、水道管理課職員が現場確認を行い、道路上に水がにじんでいる程度であり、判定試薬を使用したところ、反応があり、漏水と認識しました。

質疑

水道部が損害賠償の責任がある、いわゆる不法行為があったと判断した理由と法的根拠を伺います。

答弁

幸手市東5丁目地先において、道路に埋設されていた本市が管理する水道管が、経年劣化により破損したことにより生じたものです。また、損害賠償を行う法的根拠については国家賠償法です。

（議案第64号） 令和4年度幸手市一般会計 補正予算（第8号）

質疑

老人福祉費委託料の減額は、敬老会の封入作業の委託料と出ていますが、敬老会の記念品はどうなったのかを伺います。

答弁

今年度の敬老会は、9月19日月曜日の敬老の日に開催を予定していましたが、しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、屋内施設での開催は感染リスクが高まることから、ご出席の方々並びにご家族の健康と安全を最優先とし、急遽開催及び記念品の配布を中止としました。

敬老会の記念品については、社会福祉協議会の予算から提供していることから、本議案の減額計上ではありません。

質疑

保健福祉総合センターの管理運営費の委託料の減額と払い戻しについて伺います。

答弁

施設設備総合管理業務委託は、天神の湯に係る4月から9月までの実績に基づき不要となった部分を、減額による補正予算で計上しました。また、天神の湯の回数券払い戻しについては、既に回数券を購入された方が券を使用することができない状態にあるため、幸手市保健福祉総合センター設置及び管理条例に基づき、回数券の払い戻しを行うために計上しました。

（議案第63号） 損害賠償の額を 決定することについて

反対討論

武藤 壽男

水道事業は、我々が生活していく上で欠かすことのできない、電気などと共に重要なライフラインで地方公営企業法に基づき、市が経営する公営企業として市民の皆さんに水を供給する事業であります。

議案第63号は、専決処分された11号、12号は飲食店の営業損害の損害賠償、13号は工場の部品の損害賠償と同一の令和4年8月25日に発生した水道管の破損による同一事案で工場の部品損害267万3千円の損害賠償の、初めての異例なケースです。

水道部の確認が事故発生1週間後の9月1日で、既に部品は交換され交換前の部品の確認がされていない。また、専決処分の工場の部品損害は、市の現場確認もなく電話とメールでの確認で驚きです。2件の営業補償ですが、専決処分の際、説明もなく金額の詳しい積算も不明で、公平性と妥当性について疑問です。

今回の損害賠償は、基準もなく軽率な対応です。水道事業の持続的経営を考えるとこの対応

が先例前例となる大きな影響が心配です。

以上のことから損害賠償事務の取り扱い指針あるいは要綱等が示されない現在では、反対と致します。

賛成討論

本田 諤子

損害賠償の法的根拠と損害賠償に対する行政対応の2つについて申し上げます。

法的根拠は幸手市水道事業給水条例第14条第3項「給水の制限又は停止のため損害を生ずることがあっても市は、その責を負わない」とあるが、施設管理上の瑕疵によるもので当てはまらない。また、国家賠償法第2条「道路、河川その他の公の营造物の設置又は管理に瑕疵があったために他人に損害を生じたときは、国または公共団体は、これを賠償する責に任ずる」となっている。

行政対応については、相手側の現場へ行ったのが1週間後と理解できない。今後早急に損害賠償に必要な例規等を整備、マニュアルを作成し、今後万全に対応できるように強く要望し、賛成討論と致します。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員

駒橋 明彦 氏

を選任することに同意しました。

総務常任委員会

幸手市個人情報保護に関する法律施行条例
(議案第59号)

問 国の個人情報保護法が変わり、市や団体も国の法律に従って、これまでの市の条例ではなく、国の法律で準用するというものだが、幸手市が適用する個人情報の数はどのくらい有るのか。

答 幸手市では個人情報ファイルを作成して管理する。例えば住民基本台帳の事務など、それぞれに對してどのような個人情報が含まれているか。と言う情報をファイル化して提示するもので、そのファイル件数は、286件ある。

幸手市情報公開・個人情報保護審査会条例
(議案第60号)

問 条例の施行は4月だが審査員の選任はできているのか。

答 これまでの審査会の委員に継続してやってもらう。

問 審査員の詳細は。

答 2人が弁護士で、もう1人が元大学の教授である。

問 どの様な時に審査会が開かれるのか。

答 情報を開示できるかできないか市では判断できないときに審査会が開かれる。

令和4年度幸手市一般会計補正予算(第8号)
(議案第64号)

問 天神の湯の使用料は、当初予算で1388万6千円を計上し、9月補正で694万4千円の減額、さらに今回の12月補正で694万2千円を減額することとで、全額が減となった。当初予算では歳入を見込んでおり、市の判断のなかで方針転換があったための結果、一日も開館せずに全額を減額することになった、と言う理解でよいのか。

答 当初予算では、天神の湯を開館して可能な限り歳入を見込んで計上した。しかし、天神の湯の営業は、令和2年12月27日が最後で、新型コロナウイルス

感染症の感染防止対策で休止している。その後、再開に向けて点検、修繕を実地してきたが、更なる修繕の見積りが発生し、8月のアセットマネジメント推進会議や個別施設計画による、第1期中に検討をして、第2期で廃止をする計画を、前倒して廃止をしてはどうかという議論となり、9月に政策会議を行い、10月に廃止する方向で庁議にかけた。

問 庁舎総合管理業務委託料の減額は、入札による執行残とのことだが、どのような入札の状況であったのか。

答 11者による指名競争入札を行い落札率は89・8%となり、執行残410万円の減額となった。

問 繰越明許費の電気自動車急速充電器更新事業が、来年度には執行できる見込みがあるのか。

答 この事業は、補助金を利用して工事を行いたいと考えている。来年度当初には早々に設計を組み直し、工事に着手できるように入札関係等も進めて行く。

問 幸手市土地開発公社が借入れする事業資金80億円という限度額が設定されているが、今現在、土地開発公社は先行取得も

行っておらず、そのような中で積算の根拠とはどのようなものか。

答 債務保証の限度額が80億円というもので、10年間継続しているが、積算根拠は特に明確なものはない。昨年度では、土地開発公社が銀行から3億7千800万円程の借入れをし、市が債務保証をしている。80億円の限度額は確かに大きいがこのような形で設定している。

令和4年度幸手市一般会計補正予算(第9号)
(議案第72号)

問 歳入の1千万円の基金からの繰入れは、人事院勧告による、給与・期末手当等を社会一般の情勢に適応した金額への見直しを行うための予算措置か。

答 給与・期末手当等にあてる予算措置である。

問 国からの補助金は入っていないと理解してよいか。

答 補助金は入っていない。

文教厚生常任委員会

権利の放棄について (議案第62号)

問 入学準備金貸付金の債権を放棄するに至った経緯は。

答 貸付の申請を受けた後、返済が始まる前に、借受人の債務の免責許可が決定した旨、借受人の弁護士から通知があった。その後、3回の返済があったが返済が滞るようになり、調査の結果、連帯保証人が平成30年に亡くなったことを確認。残り10万円の債権を放棄するに至った。

問 連帯保証人が亡くなった場合、新たな保証人をつける仕組みはないのか。

答 今後、検討していく。

令和4年度幸手市一般会計 補正予算(第8号) (議案第64号)

問 放課後児童クラブ室への防犯カメラ設置工事の詳細は。

答 児童館に設置している児童クラブの敷地に休館時にごみ投棄や犬を入れたような形跡があり。警察と協議し、防犯・侵入抑止の観点から敷地内に4台を設置する。

問 敬老会の中止で記念品費の減額が計上されているが、記念品に代わるお祝いの方法はないのか。

答 敬老会の記念品配布は共催する社会福祉協議会とも十分に検討し中止とした。また、出席希望者が全体の約10%で出席率が低く、敬老会の在り方を見直す時期と考えている。記念品についても、改めて検討していく。

問 天神の湯の回数券払戻しで対象とする回は何年分からか。

答 天神の湯がオープンした平成17年4月以降に販売したものをすべてが払戻しの対象である。

問 ハッピー・スマイ(米)ル引換券作成業務委託料の内容、今まで引き換え実績は。

答 来年度の引換券を作成する費用である。1枚当たり5キロの米を10月は2022袋、11月は1462袋分引き換えた。大きな問題点なく順調に開始していると考えている。



さくらファーム

問 保育所費の病児保育事業負担金17万円の増額理由は。

答 杉戸町の医療施設にお願いしている病児保育の受け入れ人数が、コロナの影響で当初の見込みより50人程度減ることが予測される。利用者数に応じて交付される国の補助も減額が想定され、杉戸町と協議し運営費を保証した上で国の補助が減額となる分を補てんするものである。

問 衛生費の時間外勤務手当100万円の増額理由は。

答 健康増進課では感染者対応として自宅療養支援などに時間外勤務手当を費やし、今後、通常の健康増進課職員の時間外勤務手当が足りなくなることから補正をさせていただくものである。

問 消防費の全国瞬時警報システム改修による市民への影響は。

答 Jアラートに国が流す基準が地震動だけでなく、長周期地震動についても追加される。その受信のためのシステム改修であり、市民への影響はない。

令和4年度幸手市介護保険 特別会計補正予算(第2号) (議案第65号)

問 居宅介護サービス給付金3700万円の減額理由は。

答 居宅介護サービスについては、11本のサービスを提供しているが、上半期の執行状況を試算し、高額介護サービス費及び特定入所者介護サービス費の財源に振り替えさせていただくものである。



建設経済常任委員会

損害賠償の額を決定することについて
(議案第63号)

問 今回、なぜこのような事故が発生したのか、その原因と損害賠償額の決定に至る経緯の内容は。

答 今回の事故は、8月25日に東5丁目地内において、経年劣化した150ミリの水道管が破損してしまい、そのことが原因で管内の水の流れや流速が変化してしまつたため、濁り水が生じた。破損により濁りが生じたことが原因であることから、市の瑕疵によるものであり、条例、法規等を確認して、損害賠償の義務を負う必要性があると判断した。事故発生からの対応としては、8月25日に相手方から問い合わせがあり、相手方の都合等からお会いできたのは、事故発生から1週間後の9月1日となりその際に写真等、事故が確認できる書類を提出していただいた。相手方からの修理請求依頼を受け、

市と契約している保険会社に、相手方から預かった書類等を提出した。内部での協議を重ね、本件は幸手市水道給水条例第14条第3項に該当しないという結論に至り、国家賠償法第2条の規程を準用し、損害賠償を行うこととした。



問 損害賠償事案に対する水道部の対応、事務手続きが今回、適切ではなかったと考えるが、損害賠償に対する今後の市の対応方法については。

答 それぞれの案件に対して、法規法令を確認して、判断してゆく。

なお、今後、損害賠償事案が発生した際の対応基準等について、要綱や規程を整備していくことを検討していく、との答弁が併せてなされた。

令和4年度幸手市一般会計
補正予算(第8号)
(議案第64号)

問 多面的機能支援事業補助金の減額理由は。

答 減額理由は、まず、戸島地区に事業予定をしていた組織が事業実施できなかったこと。2点目が令和4年度から新規で活動を始める組織について、活動面積が確定したこと。そして、3点目に現在、継続で活動している組織の長寿命化に係る事業の補助金額が減額で確定したことによる。

問 指定管理者光熱費高騰対策支援金の増額内容は。

答 昨今の電気料金の高騰に合わせまして指定管理者に対し

て、光熱水費高騰分に対する支援ということで補助金を支出するものです。内容については、都市計画課で所管している幸手総合公園ほか6公園に対する指定管理と平須賀南公園ほか4公園に対する指定管理の2つの指定管理業務に対する補助金である。幸手総合公園ほか6公園については、都市計画課と社会教育課、2課にわたって予算措置していますので、按分をしている、総額で86万円、そのうち、13万5千円が都市計画課分として予算計上している。平須賀南公園ほか4公園については、22万円の内訳となっている。



市政に対する

一般質問

今定例会では、14人の議員が12月1日、2日、5日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

坂本達夫議員

- 本庁舎の建て替えについて
- 駅西口駐輪場について
- 浸水問題について
- 近所の避難場所について
- 惣新田幸手線バイパスの説明会について

小林英雄議員

- 幸手市民まつり・県営権現堂公園2号公園について

四本奈緒美議員

- 子育て支援について
- 子宮頸がん予防ワクチン接種と帯状疱疹予防ワクチン接種について
- 田んぼダムによる防災・減災対策について

小林啓子議員

- 性の多様性を尊重した社会づくりについて
- 電子図書館（電子書籍貸出サービス）について伺う

本田謡子議員

- 防災について

藤沼 貢議員

- 人口減少問題について

青木 章議員

- ふるさと納税について
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

松田雅代議員

- 新型コロナウイルス感染症に係る学級閉鎖等による学び・学力保障への影響について
- 入間市との連携交流協定の今後の取り組みについて
- 職員の適正配置・組織の統廃合について

大平泰二議員

- 新型コロナウイルス、インフルエンザ感染症対策
- 治水対策
- 駅西口土地区画整理
- タクシー券の交付

小河原浩和議員

- 幸手市における買い物弱者救済のため、スーパーマーケット等との協定のもと、移動販売車導入を提案するが所見を伺う
- 吉田幼稚園跡地・備品の活用について伺う
- 子育て支援の充実について伺う

木村治夫議員

- 安心安全対策について
- 権現堂堤の観光シーズンの渋滞解消と新たな公共交通の整備について
- 幸手駅西口土地区画整理事業について

枝久保喜八郎議員

- 帯状疱疹予防ワクチン接種について
- 教育問題について
- 幸手中央地区産業団地の拡充について

海老沼隆夫議員

- 新型コロナウイルス感染状況とワクチンの接種計画について
- 危険な県道・市道について
- 市民人口減少防止対策等について
- 市民の足・循環バスの運行について
- 予想される災害対策等について

武藤壽男議員

- 総合教育会議と学校の適正配置について市長に伺う
- アライグマ、ハクビシン等の鳥獣被害等について
- 市と各種団体との意見交換等について

「議会報告会」に対して寄せられた意見要望等について

今年度の「議会報告会」については、コロナ禍の影響により中止といたしました。市民の皆様から、市議会や市政に対して下記のとおり「ご意見・ご要望」が寄せられ、市議会から市に対して回答を求めました。市からの回答をお知らせいたします。

市議会として引き続き皆様の声が市政に反映されるよう努めてまいります。

質問

吉田幼稚園の跡地について、緊急時に避難所として活用できるようにして欲しい。また、惣新田地区の地域の現状を把握し、高齢化の状況や交通の便を考えてください。

答

吉田幼稚園の跡地活用につきましては、現在、プロジェクト・チーム会議において検討しており、市民の皆様からも意見を頂戴したいと考えています。

また、令和4年度、5年度の2箇年で市の将来的なまちづくりのため第6次幸手市総合振興計画後期基本計画を策定しており、その過程において市民の皆様からも色々な意見をいただいています。吉田幼稚園が位置する地区は、市街化調整区域にあり活用方法が限定されますが、それらの意見を計画策定の参考にし、よりよい街づくりにつなげてまいります。

(総合政策部・政策課)

本庁舎の建て替えについて



坂本達夫議員

Q 本庁舎の建て替えに関する事実を確認、整理する。

①本庁舎は、昭和42年8月に建設され、55年が経過し、耐震性に問題がある。②新庁舎の建設費は22億円から26億円かかる。③建設のための基金は、5300万円だけである。④市債残高は134億円もある。⑤高齢化と人口減少で財源が見込

めない。
以上のことから、本庁舎は取り壊し、その機能をウエルス幸手等、既存の建物に移転すべきと考えるが、市長の所見を求めらる。

A 市役所本庁舎の整備方針としては、建て替えの方向で進めており、市民や議員の皆様、これから入庁してくる職員を含めた執務を行う職員に安心して利用してもらえる庁

舎、防災中核拠点としての機能をしつかり備えた庁舎を、できる限りスピーディーに建設したいと考えている。
来年度以降の基本構想策定に向け、今年10月から副市長と全部長級職員で構成した庁内検討委員会を立ち上げ、基本構想策定のための準備を進めている。
(市長)

初めて郊外の公園で行われた市民まつりは



小林英雄議員

Q 第27回市民まつりが、オープン間もない県営権現堂公園2号公園で、オープン式典と併せて行われた。市内だけでなく、市外からも予想を超える、幅広い年代の来場者があり、若い世代、子育て世代の家族も多くみられ、賑やかで盛大なものとなった。コロナ禍により、3年ぶりで、初めて郊外の

公園での開催となり、会場、駐車場、シャトルバス、ブース等、様々な問題があったと思われるが、市民、来場者からの指摘、意見、また、その対応について考えを伺う。

A 市民まつり会場は、スペースを広くとれたことにより快適に過ごせたとのこと見があった。

駐車場は、一時的に満車となったが、待ち時間は比較的少ない

かったと認識している。
シャトルバスは、乗車ができない状況が発生したことから、増便のご要望をいただいた。
ブースについては、多くの方に利用していただき、どのブースも盛況であった。
来年の市民まつりに向け皆様からのご意見を調査・研究し、開催場所等を含め検討する。
(建設経済部長)

子宮頸がんと帯状疱疹予防ワクチンについて



四本奈緒美議員

Q

令和5年4月より子宮頸がんを予防する9価HPVワクチンが新たに定期接種となる予定である。4月からの実施と対象者への丁寧な通知が必要と考えるが、本市の取り組みを伺う。

加齢やストレス等、免疫力の低下により帯状疱疹を発症する人が増えている。ワクチン接種

は発症と後遺症を抑える効果がある事から、現在任意接種で50歳以上が対象となっている帯状疱疹ワクチン接種に助成を行い、市民の健康を守るべきと考え、本市の見解を伺う。

A

子宮頸がんの9価HPVワクチンの周知方法については、広報や市ホームページに加え、対象者へ個別通知を考えている。また、交互接種等についても誤解が生じないように、

周知徹底していく。

任意接種である帯状疱疹ワクチンの助成については、予防接種事業がこれまで定期接種のワクチンを基本としていることから、国の定期接種への動向を注視するとともに、他自治体の実施状況等について調査のうえ、研究していく。

(健康福祉部長)

性の多様性を尊重した社会づくりは



小林啓子議員

Q

パートナーシップ制度については、昨年までに全国102以上の自治体で導入され、埼玉県では今年7月より「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」が施行された。幸手市のパートナーシップ制度の導入に向けての考えを伺う。

市内中学校のジェンダーレス

制服の導入について伺う。

性の多様性に関して市民に理解を深めてもらうための必要な啓発について、幸手市としての考えを伺う。

A

近隣の先進事例等の情報収集等を行い、幸手市のパートナーシップ制度化に向けて、調査研究を行い、すみやかな制度化に努めていきたい。

市内中学校において、全ての生徒が安心して通える環境づく

りの1つとして、ジェンダーレス制服の導入に向け、準備を進めているところである。

性の多様性のさらなる理解促進を図るための周知や啓発をホームページ、SNSなどあらゆるツールを活用して公報していきたい。

(教育長・総務部長)

突然、姿を消したカスリーン台風の電柱表示



本田 謡子議員

Q 本年9月上旬に、突然、電柱表示されたカスリーン台風による利根川の氾濫時の水位表示等が、姿を消しました。この電柱表示は、利根川の氾濫を身近に周知すると共に、防災の観点からも有意義なものだと思います。そこで、市はこの電柱表示がなくなってしまうことをご存知か伺う。また、

カスリーン台風の氾濫時の水位表示は、国土交通省利根川上流河川事務所が令和元年度まで実施していましたが、その撤去が最近行われたと認識しています。現在市では洪水に対する備えのために、ハザードマップの浸水深の表示を検討しています。

A 今後の市の対応としては、また、

イタイムラインの作成や家庭での備蓄について広報したり、自主防災団体の組織化を進め、支援していくことで、「自助」や「共助」に対する理解を広めていきたいと考えています。

(市長・市民生活部長)



人口問題を議論するための方向性について



藤沼 貢議員

Q 先の一般質問で指摘した、幸手市の人口減少の取り組みについてその後どう協議されているのか伺いたい。

また、新駅の建設に伴い西口区画整理が進行している中、西口駅前の整備はどのような取り組みに組まれているのか。民間活力の導入について市から要請する考えはあるか伺う。

A 今後、人口減少問題の克服に向けて、「幸手市まち・ひと・しごと創生市民会議」等を継続するほか、様々な機会に、市民の皆様からご意見を拝聴できるよう努めてまいります。

また、民間活力の導入について、出店意向を把握するために業種を拡大しアンケートを実施した。仮換地後の土地は所有者に処分権限が移動するため、土地活用の相談に対してサポート

していくとともに、事業者に対し、情報提供・意向確認を行い企業の進出を促していきたい。(総合政策部長・建設経済部長)



ふるさと納税について



青木 章議員

Q ふるさと納税は、自分の故郷や応援したい自治体など、好きな自治体を選んで

寄附が出来る制度です。自治体の取り組み、まちづくりなど寄附金の使い道を指定できます。令和3年度、純粋な幸手市の受入れ額は、1010万円です。一方、幸手市民の他市への流出額は約1億3349万円です。

す。この市民税の減収額は、約6240万円です。新たに魅力ある返礼品を発掘すること。また、寄附金の用途を明確にして、募集するなど大いに工夫が必要と思うが、具体策を伺います。

A ふるさと納税については、令和元年度にふるさと納税サイトを導入し、毎年、返礼品や協力事業者を増やしています。

しかしながら、幸手市の受入額を他自治体への流出額が上回っていることは認識していません。

今後も、魅力ある返礼品の発掘や商工会との連携、SNSを活用した事業者へのアプローチなど、返礼品協力事業者の拡大を精力的に行います。また、企業版ふるさと納税など、寄附額拡大への新たな取り組みを積極的に実施してまいります。

(総合政策部長)

コロナ禍による臨時休業等に万全の対応を



松田雅代議員

Q 新型コロナウイルス感染症が未だ終息を見えない中、学級閉鎖や学年閉鎖となる学校が全国的に広がっている。幸手市では2学期に入って複数の学校で学級閉鎖が相次ぎ、直近では臨時休業となる学校も報告されている。

学校現場の事務量の増加、カリキュラムの履行、子どもたちの

学び・学力保障、家庭も含めた様々な負担や影響が気になるところである。特に低学年や進学・受験を控えた小6・中3生の学習理解の定着、宿題の見届けは重要である。対応を伺う。

A コロナ禍による臨時休業等により、児童生徒・保護者・教職員等に様々な影響が出てくる。その影響を極力減らすために、各学校では、オンラインでの学習や宿題・課題等

を適切に提示して、学びの保障に努めている。

また、不足した授業時数につきましましては、余剰時間の活用や時間割の工夫等の弾力的な教育課程の編成により、年度内で時数を充足させ、確実な学び・学力保障に繋がっていると考える。

(教育長)



小河原浩和議員

市内の買い物弱者救済のため、移動販売車導入を提案

Q

高齢化の進行とともに小売店舗の超大型化・郊外化により近所の小売店が減少し、日常の買い物に不便を感じている方が大きな社会問題となっている。

近隣自治体では、問題解決の手段としてスーパーマーケット等と協定を結び、市が一定の助成や補助を出しながら移動販売車

A

移動販売車については、幸手市にも導入を提案する。

高齢化社会を見据え、新たなビジネスとしてサービスエリアを拡大している。流通事業者等によって運営の仕方が異なるため、行政が何処まで関われるか十分な調査研究が必要である。現在、先行する自治体から課題や問題点を収集すると共に、流通事業

(健康福祉部長)



治水対策と無許可橋



大平泰二議員

Q

大中落し牛村病院前架け橋による川幅狭窄で、上流下流の水位差発生の確認方法について、9月議会以降の進捗状況の報告を求める。

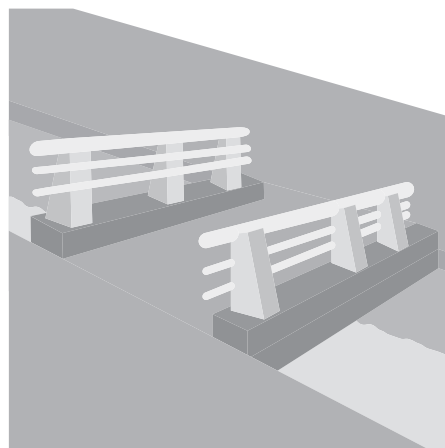
また、市内河川の無許可橋の現状と対策について伺います。

A

9月議会で質問があった牛村病院前、大中落の川幅狭窄部に水位標を設置した。今後、増水時には上流と下流の水位差の確認を行う。

また、準用河川中落の県道幸手久喜線下流に架かる人道橋が所有者不明な橋であるが、川幅狭窄部ではないため、治水上の問題はない。

(建設経済部長)



桜堤の観光渋滞解消と新たな公共交通整備は



木村治夫議員

Q

来年の第90回幸手桜まつりは、令和5年3月25日（土）～4月9日（日）まで開催が決定されました。

市の最大イベントであるまつり時期の渋滞対策、また、渋滞解消対策としての具体的対応等伺います。

また、令和2年第1回定例会中に「仮称県営幸手権現堂公園

駅」の設置請願が請願者6名により議会に提出、しかしコロナ感染症拡大により取り下げの経緯がありました。市長公約ロードマップにおいても「四季駅の検討」が示めされております。その進捗状況について市長に伺います。

A

桜まつり時の渋滞対策については、会場付近の県営公園や企業の駐車場を借用し、より多くの駐車台数を確保

します。また、駐車場までの誘導看板を適所に設置することでスムーズに誘導できるようにします。臨時バスの運行についても検討しつつ渋滞緩和対策に努めます。

「四季駅」について鉄道会社と意見交換した実績は令和2年2月の1回のみですが、市長公約ロードマップに位置づけられていることから、引き続き設置の可能性を検討していきます。（総合政策部長・建設経済部長）

中央地区産業団地の拡充について



枝久保喜八郎議員

Q

幸手市の財政は県内でもかなり厳しい位置づけに置かれる現状にあります。

この状況を打破する対策の一つとして、現在ニトリが工事を開始した後、更なる活性化を図るための中央地区産業団地の拡充は欠かせないものと考えます。そこで、次の項目について伺います。

A

幸手中央地区産業団地の東側地区は工業系の土地利用構想となっており、新たな産業団地整備は、基盤整備や雇用創出、市の財源確保にとつて極めて重要であると考えます。

- ① 県企業局との折衝現況及び感触について
- ② 具体的な要望内容は提示しているのかについて
- ③ 問題点について
- ④ 認可の目途について

現在、産業団地にかかる県との具体的協議を始めるため、課題である農業振興地域整備計画の見直しを行っています。

計画の骨格が整えば、県企業局との具体的な協議を開始できる状況となることから、県企業局と事業の可能性を協議したいと思えます。

（市長・副市長）

市民減少防止し、新たな市民受け入れ策を！



海老沼隆夫議員

Q

他市町村から幸手市に転入して来た場合には、例えば40歳未満の夫婦世帯には転入費用の5%、30万円以下の支援を行うとの答弁を先の議会にて頂きましたが、申請が有ったのは、前回の答弁時では2件のみとのことでした。答弁にも有りましたが、幸手市から転入者への大きな支援活動の広報活動

A

「幸手市しあわせ家族ウエルカム補助事業」の補助要件が、令和4年4月1日以後に契約し登記したものと なっており、住宅が登記されるまでに時間を要することから、令和4年9月の時点では、申請

数が少なかつたものと推察する ところでは、事業の広報につい ては、市ホームページの外、公 共施設や駅へのチラシの配架を 引き続き行ってきましたが、令 和4年11月現在の申請件数は、 11件となり、まもなく予算上限 に達する状況となっております。

(総合政策部長)

総合教育会議と学校の適正配置



武藤壽男議員

Q

市長を主宰とする市長と教育委員会の総合教育 会議があり種々議論されていま す。本市は少子化の影響で児童 生徒数が、昭和59年度9676 人をピークに減少し、現在32 71人、6年後には更に2597 人に減少すると推計されます。 現在ですら少人数のため、複式 学級や学校行事等に支障をきた

A

す学校もあります。 次代を担う人材育成のために も早急に市の街づくりの方針を 明らかにした中で、学区の再編 成を含めて適正規模の適正配置 が必要です。市長に伺います。

(市長)

いります。その過程においては、 教育委員会との緊密な連携が必 要であり、総合教育会議で検討 することも一つの方法であると 考えています。 将来のまちづくりを含めて市 民の皆様の十分な理解と協力を 得られるよう努め、最善の選択 に繋げてまいりたいと考えてい ます。

令和4年第1回10月臨時会 提出された議案の結果

公明党…公 幸手市政クラブ…幸 自民党市議団…自 新政会…政 新緑…緑 日本共産党…共 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
		四本奈緒美	坂本達夫	海老沼隆夫	小林英雄政	枝久保善八郎	宮杉勝男政	本田謡子政	小河原浩和	小林啓子公	松田雅代幸	木村治夫自	藤沼貢自	青木章緑	武藤壽男幸	大平泰一共	総務	

(幸手市長提出議案)

議案第57号	令和4年度幸手市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
--------	-----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

令和4年12月定例会 提出された議案の結果

(幸手市長提出議案)

議案第58号	幸手市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員撤回承認
議案第59号	幸手市個人情報の保護に関する法律施行条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第60号	幸手市情報公開・個人情報保護審査会条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第61号	幸手市手数料条例の一部を改正する条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第62号	権利の放棄について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第63号	損害賠償の額を決定することについて	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	建設経済	賛成多数可決
議案第64号	令和4年度幸手市一般会計補正予算(第8号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第65号	令和4年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第2号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第66号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第67号	幸手市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	総務	賛成多数可決
議案第68号	幸手市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第69号	幸手市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第70号	幸手市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第71号	幸手市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第72号	令和4年度幸手市一般会計補正予算(第9号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務	賛成全員可決
議案第73号	令和4年度幸手市水道事業会計補正予算(第2号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第74号	令和4年度幸手市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決

(議員提出議案)

会議案第2号	幸手市議会の個人情報の保護に関する条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
--------	---------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

12月定例会

傍聴者	14の方が傍聴されました。				
議会インターネット中継のアクセス件数	インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。				
10月	148件	11月	81件	12月	1445件
の方が視聴されました。					

3月定例会のお知らせ

2月17日 開会予定です。
詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.city.satte.lg.jp/>

- 12月定例会 会期日程
- 11月30日(本会議)
 - ・開会・会期の決定・報告事項
 - ・市長提出議案一括上程
 - ・提案理由説明
 - 12月1日・2日・5日(本会議)
 - ・市政に対する一般質問
 - 12月9日(本会議)
 - ・議案に対する質疑
 - 12月12日(委員会付託)
 - ・議案の委員会付託
 - 12月13日(委員会)
 - ・総務常任委員会
 - 12月14日・20日(委員会)
 - ・文教厚生常任委員会
 - ・建設経済常任委員会
 - 12月21日(本会議)
 - ・委員長報告・質疑・討論・採決
 - ・閉会

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 12月定例会の会議録は3月上旬頃公開予定です。

議会広報編集委員

委員長	宮杉勝男
副委員長	小林啓子
委員	四本奈緒美
委員	坂本達夫
委員	海老沼隆夫
委員	本田謡子
委員	小河原浩和
委員	松田雅代
委員	木村治夫

編集後記

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まり1年。依然として終息が見えない。昨年10月、第84回全国都市問題会議に出席する為に長崎市を訪れた際に、会議の合間を縫って長崎原爆資料館と原爆落下中心地を訪れた。1945年8月9日に原爆が投下されたその地に立って、77年後の今も続く戦争と核兵器の脅威、戦火におびえるウクライナとロシアの庶民の姿を想いながら、平和への祈りを捧げた。世界の平和と共に大事なのは足元の幸手市政である。今年も市民の安全安心な生活を守る為に働いていく決意である。